

令和2年12月22日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	守山市立吉身保育園
代表者氏名（管理者）	園長 大西 美幸
法人名	社会福祉法人 洛和福祉士会
定員（利用人数）	本園 150 名（156名） 分園 25名（22名） いずれも2020.10.31.現在
施設・事業所所在地	本園 守山市吉身二丁目6番61号 分園 守山市吉身三丁目2番26号
T E L	本園 077-582-4477 分園 077-583-3667
F A X	本園 077-582-4477 分園 077-583-3667
電子メール	yoshimi_enchou@rakuwa.or.jp
ホームページアドレス	http://www.rakuwa.or.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	令和2年12月7日と12月10日

○ 総合評価

吉身保育園は昭和46年に開設し、公立保育園として40年余の歴史を刻んできた。平成22年4月には、守山市の指定管理者制度に基づき、社会福祉法人洛和福祉会が受託することとなり、平成26年7月には市の乳児保育枠増員政策により吉身小学校内に定員25名の乳児保育施設を開設し、吉身保育園の分園として運営を受託し今日に至っている。乳児保育の育児担当制、幼児保育では「たてわり保育」をベースにして、幼児部門のみならず医療分野、高齢者分野でも活躍している運営母体法人の指導支援も受け、伝統を生かした保育に磨きをかけている。昨年園長交代があり、2年目を迎えた園長は全職員と共に伝統を大切に地域有志の協力や保護者による愛園活動等を得ながら、下記目標を掲げて活動している保育園である。

「あたたかい思いやりの心をもった子ども」

「自分の考えをもって行動できる子ども」

「生き生きとした強く明るい子ども」

「人権を大切にする心を育てよう」

という子どもの姿を目標に、サービスの質向上を目指して前進している保育園である。

○ 特に評価の高い点

1、伝統的な保育方針

- ・本園伝統的な育児担当保育、たてわり保育形態の保育実践を通して、保育士間の連携と認識共有により、園児の人と人とのつながりや育ちあいが豊かに育まれる保育を継承し発展させている。
- ・育児担当制を採用入れ、子どもとの愛着関係を結んでいる。
- ・子どもにとって保護者と離れ日中の長い時間 1対1 で日常生活動作を繰り返し援助して貰う保育士と愛着関係が結ばれ、情緒の安定が得られる保育に取り組んでいる。
- ・自分の思いを言葉で表せない一人ひとりの子の思いを汲み取れるように言葉以外からのサインを掴むようにしている。
- ・幼児はたてわり保育を取り入れ、お互いを思いやる心を育てている。
わくわくコンサート後、年上の子どもが年下の子どもに楽器を「こうしたら良いんや」と優しく教えており、年長児の演奏を聞き、来年は僕も頑張る、出来るんだという期待や憧れの表情があふれ出ている。
- ・人権を大切にする心を育てる保育に努めており、配慮を要する子どもたちもクラスのみんなと一緒に楽器を演奏したり、歌ったり同じように関わる保育を行っている。調査日に遊戯室で5歳児が手話ソングを4歳児の前で披露しており、手話の意味を知り相手に伝えることの大切さが分かるようにはっきりとやさしく歌っている姿があり、人権を大切にする保育を実践している。
- ・18:00前は迎えが多く、各部屋の前や玄関は保育士・保護者・子どものほっこりした時

間帯で「子どもの姿」など伝え合いコミュニケーションが取れる唯一の時間である。保育が終わりに近づく時間には、一日の疲れや保護者を待つ気持ちを保育士等が受けとめながら温かく関わり、落ち着いて過ごせるよう配慮した保育をしている。訪問当日部屋の片隅では保育士に相談・助言を受けている保護者の姿が見られた。

2、食育について

- ・食育計画に基づき、毎月「もりもりだより」を保護者に配布し、子どもや保護者に対する食事指導や啓発活動、園での餅つき、お芋ほり時の子どもの様子、エピソードを記載している。全国の味めぐりで郷土料理、世界の味めぐりでは各国の食文化について紹介、園での対応食のレシピ等を給食室の前の廊下に掲示している。分園にも本園で調理したものを「温かいものは温かいうちに」運び提供している。食事に関し本園・分園とも保護者から高く評価されている。

玄関から大きなガラス越しに調理室がみえる。調理師が側にいた子どもに「給食美味しかった？何が美味しかった」に「全部美味しかった～」嬉しい応えが返っている。

3、地域密着の支援関係

- ・地域高齢者ボランティア、ハッピーさん（今年4月以降は中止をお願いしている）やお話し会が、全体的な計画に組み込まれているほど協力的で、子ども達も楽しみにしている。
- ・地域の子育て支援ニーズに応えるため、さくらんぼサロンやさくらんぼ教室、見学の受入れなど、未就園児の親子の遊び場の提供や子育ての悩みの相談に応じている。

4、分園について

- ・0,1,2歳児合計22名の少人数でアットホームな雰囲気分園である。育児担当制という伝統を受け継ぎつつ、常勤6名、フリー3名と主任がリードして全職員が総ての子どものことを把握出来ており、一緒に行動することで連携がとりやすくソフト面では恵まれた中で育っている。

- ・小学校校舎という条件下で固定遊具等1~2歳児に合わないが自然を利用し、でこぼこの小山を上ったり、ダンボールなどで工夫した遊びをし、広い運動場の隅々まで足を運ぶことから足がしっかりし、たくましく育っている。

校庭の自然環境が良く、四季折々の移り変わりを子ども達は見て肌で感じ取っている。

特に秋のもみじのグラデーションや木の実拾いをしたり、小学生が捕まえたカエルや虫を触るなど体験し、自然な形で小学生ともコミュニケーションが取れ、自ら探索活動も出来る様になっている。

- ・2歳児においてはいずれ本園の3歳児に移行していくことを前提に、本園2・3歳児との交流、庭遊びの継続など進級体制を図り、本・分園連携の充実を図っている。
- ・保護者アンケートの回収率100%で、その結果からも保護者と園との信頼関係と絆が、強く感じ取れるものであった。（保護者アンケート結果表を参照されたい）

○ 改善を求められる点

1、人材不足対応

- ・保育士不足は社会的な問題になっているが、本園、分園においても保育人材確保が課題で洛和福祉会グループ一体となって人材確保に努力中である。一日も早い解決が実現する様期待したい。
- ・人材不足という負の回転が始まると、保育士の負担が大きくなり、保育士同士が思いやり
に欠けて来ると、新人保育士の定着度が下がるなど、子ども達にとっては大きな損失とな
って影響して行く。是非良い回転が始まるよう、頑張ってもらいたい。

2、保育内容

- ・子ども一人ひとりの発達や状況を踏まえた標準的な実施方法を定め、文書化した保育手順書
の早期作成を実現して欲しい。職員がいつでも閲覧ができ日常的に活用できるように取り
組み、職員の違い等による保育の水準や内容の差異を極力なくし、一定の水準・内容を保育
の実践に生かしてほしい。

3、絵本コーナー

- ・ホールにあった絵本コーナーが、コロナ禍のためなくなっており、絵本好きな子どもたち
が多い保育園であった伝統を、コロナ禍の為に無くしてしまわない様それに代わる取り組
みを考案して、対処することを期待したい。

4、分園について

- ・小学校校舎という条件下でトイレは手前 2 箇所を園児が使っている。分園廊下の温度管理
はコロナ対応の結果、防火壁などで締め切ることをせず風通しを良くしている現状では難
しいと思われ、ズボン・パンツの着脱で下半身裸になり待っている時間は手作りのパーテー
ションで補っているがトイレへの呼びかけ等工夫や配慮が必要と思われる。
- ・洗面所についても 1~2 歳児が使用するには高く、踏み台を使い、側で保育士が一人ずつ見
守りながら手洗いしている。
- ・毎年の課題に上がっているが 0,1 歳児教室に入るドアが押しドアになっている。
白いテープなどでドアの印をし工夫をしているが、内側にいる園児に当たる可能性が
あり引き戸にすることで事故防止を図ってほしい。
- ・小学校の空き教室を、2 階は小学校用に、1 階は学童と分園が教室毎に使用している現状で、
玄関は共通使用となっている。分園玄関前の駐車場から砂ほこりが入ってきており、
ほこりは階段や玄関にもたまり、清潔とは言い難い状況にある。
現在コロナ禍で換気の為、廊下入り口など開けているので保育園の子ども達の廊下や部屋
にも入ってくる。小学校とも協議し清掃面での解決策を見出してほしい。

4、 第三者評価結果に対する事業者のコメント

日々の保育の中で、子どもと保育士との愛着関係の中で育まれる安心感や信頼感による心の育ちを大切にしながら育児担当保育やたてわり保育を行ってきたことで、高い評価をいただいたことは職員の励みになります。子どもたち一人一人が落ち着いて過ごし、安心して保育園生活を送りながら、人と人とのつながりや育ちあいが豊かになるよう日々保育に取り組んだことは、今後も努力していきたいと思っております。今回の評価から高い評価をいただいた点は、今後も引き続き職員と共に努力してまいります。

また、改善点につきましては、保育内容の標準的な実施方法の保育手順書を作成していき、職員の保育の水準を上げていきながら人材確保をしていきたいと思っております。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために保育の仕方を変えたり、縮小したりしながら保育していますが、今後も保育や行事の仕方を工夫しながら保育にあたっていきたいと思っております。今後も保護者や地域の皆様のご支援ご協力を頂きながら、安心安全な園づくりに努めていきたいと思っております。